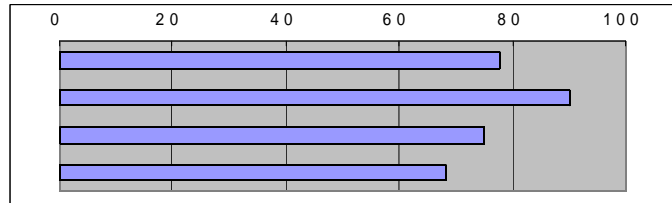


## 小学校国語について

### 国語A「主として知識に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果を全国と比べると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」全体において高い平均正答率を示しています。今後も適切な言語活動の選択・充実を図り、各領域を一層向上させることが求められます。

話すこと・聞くこと
書くこと
読むこと
言語事項



#### 【言語事項】

ひらがな表記をローマ字で書くことは、全国と比較すると低い平均正答率を示しています。ローマ字の指導は新指導要領において第4学年から第3学年の指導事項へ移行することを踏まえ、指導学年以降の日常的継続的な指導が必要です。

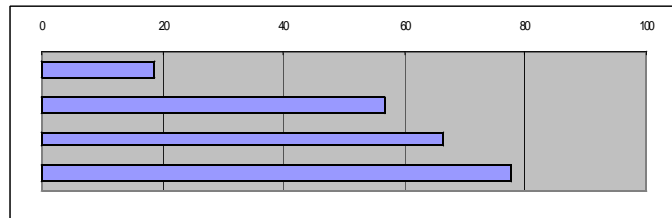
#### 【読むこと】

文学的な文章の表現の工夫をとらえることは県と比較すると高い平均正答率でした。内容理解だけでなく、文章構成や表現の仕方に着目しながら意見を交流・評価する学習活動を大切にしている成果と思われます。

### 国語B「主として活用に関する問題」の結果

大問ごとの調査結果を全国と比べると、「表をもとに話し合う」「自分の考えをまとめるために読む」「図を使って説明する」で高い平均正答率を示しています。しかし、「調査報告文を書く」で課題が見られます。

調査報告文を書く
表をもとに話し合う
自分の考えをまとめるために読む
図を使って説明する



#### 【図を使って説明する】

意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明することは全国と比較すると高い平均正答率でした。国語科のみならず他教科、他領域においても資料を提示して説明したり、提案したりする学習活動の充実が図られてきた成果と思われます。

#### 【調査報告文を書く】

資料から必要な情報を選択，それに基づいて自分の考えを書くことは全国的に課題が見られ，本市も同様でした。図表やグラフ等多様な資料に触れさせ，結果と理由を関係付けて書く指導計画を構想することが必要です。

### 質問紙調査から 国語の学習について

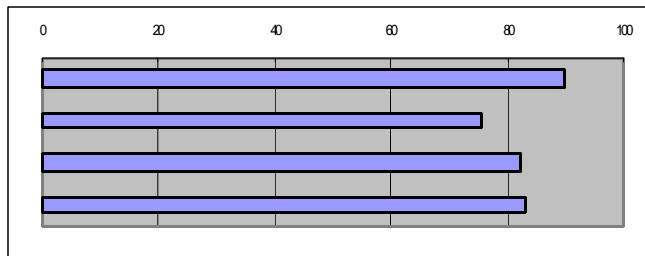
「国語の勉強は好きだ」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童はこの3年間で約65%、約67%、約67%と推移しています。また、「国語の授業の内容はよく分かる」という質問に対しては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は約80%です。達成感につながる魅力ある国語の授業が展開されるよう、各校で授業改善を進めていることがうかがわれます。今まで以上に児童の興味・関心、意欲を喚起し、多様な学習活動における適切な言語活動の充実を図り、児童が国語の学習に一層主体的に取り組める授業実践が必要であると考えます。

## 中学校国語について

### 国語A「主として知識に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果を全国と比べると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」全体において高い平均正答率を示しています。今後も各領域ごとに指導が一層充実するような言語活動の選択・充実が求められます。

話すこと・聞くこと
書くこと
読むこと
言語事項



#### 【言語事項】

行書の配置・配列に気を付けて書くことは全国と比較すると低い平均正答率を示しています。書写の指導は新指導要領において指導時数の目安が改められることを踏まえ、お互いに書いたものを交流・評価する活動を取り入れることを一層重視することが必要です。

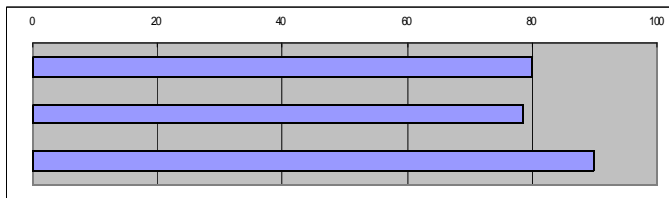
#### 【読むこと】

短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむことは全国的に課題が見られ、本市も同様でした。また、短歌の内容を理解することは県と比較すると高い平均正答率でした。作者の感動等、鑑賞した読みを伝え合う活動の充実を図ってきた指導の成果と思われます。

### 国語B「主として活用に関する問題」の結果

大問ごとの調査結果を全国と比べると、「情報を読む」「情報を整理する」「詩を味わう」で、高い平均正答率を示しています。

情報を読む
情報を整理する
詩を味わう



#### 【情報を整理する】

県と比較すると文章と補助資料とのかかわりを理解することは高い平均正答率を示しています。昨年度の課題を踏まえ、図表やグラフ等、複数の資料と文章を関連付けて読み、説明する学習を進めてきた成果と思われます。

#### 【詩を味わう】

詩の内容等を踏まえて写真を選び、自分の考えを書くことは高い平均正答率でした。今後も文字表現だけでなく写真や絵画等、様々なものと比較・関連させ、自分の考えを説明する学習の充実を図ることが求められます。

### 質問紙調査から 国語の学習について

「国語の勉強は好きだ」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒はこの3年間で、約50%、約65%、約65%と推移しています。「国語の授業の内容はよく分かる」では、昨年度に引き続き約80%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答え、全国、県よりも高いポイントを示しています。これらのことから、各校において授業改善の具体策が検討され、「分かる」「できる」授業が引き続き実践されていることがうかがわれます。今後も、一人一人の生徒が確かな成就感を感じられる国語の授業実践が必要であると考えます。